



**2024年1月14日
1月第二主日礼拝式**

「主に向かって喜び歌おう」

(詩篇95:1-3)

主に向かって喜び歌おう

われらの救いの岩に

感謝の歌で み前にすすみ

さんびをもって 主に喜ぼう

主は大いなる神 すべてにまさって

主は大いなる神 大いなる王

140 互いに愛し合い

たがいに愛し合い

主イエスの愛を

すすんで世界にあらわそう

ともに

日ごとに新たな きよい主の愛

さあ今 手を取り あらわそう

新聖歌22番 「御神(みかみ)の愛をば」

- 1 御神(みかみ)の愛をば 歌うわれらの
むねはひらきたり 花のごとくに
御顔(みかお)の光に 迷いの霧(きり)も
うたがいの雲も 消えてあとなし
- 2 みつかい聖徒(せいと)ら 歌えみいつを
月 星 太陽 たたえよ神を
雪ふる高嶺(たかね)も 花咲くたにも
はやしも野原も さばくも海も

【次】

新聖歌22番 「御神(みかみ)の愛をば」

- 3 御神(みかみ)は 罪ある者をも愛し
御子なるイエスをば つかわしませり
赦しのみ恵み きよむる力(ちから)
ふでにも声にも のべ尽くしえず
- 4 御神(みかみ)はわれらの 父親なれば
御子なるイエスをば 「あにうえ」と呼ばん
よびとよ 親しみ 互いに助け
みむねのなる日を しのび待てかし

アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌354番 「迷えるとき光を」

- 1 迷えるとき 光を 疲れしときいのちを
祈らば答えをたもう 主は救い主なり
- * 重荷もなく迷いもなき 旅路ぞ楽しき
共にいますキリストこそ わが身の神なれ
- 2 まことと愛とに満ち 約束なししことを
必ずなしとげたもう 主は救い主なり（*）
- 3 いずこに我が行くとも いかなる地に住むとも
守りの手をのべたもう 主は救い主なり（*）

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの

おお みかみに

ときわに たえせず

みさかえあれ

みさかえあれ

アーメン